

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2019-120931 (P2019-120931A)

【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-029

【出願番号】特願 2018-228984 (P2018-228984)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 1 J 3/45 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 1 J 3/45

G 0 2 F 1/13357

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 6 日 (2021.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学デバイスであって、
 液晶可変リターダ (LCVR) と、
 前記 LCVR に光学的に結合された射出瞳拡張器と、
 前記 LCVR の異なる空間領域をカバーする 2 つ又はそれより多数の電極対と、
 を備え、
 前記射出瞳拡張器は、
 基準光源から基準光を受け取る少なくとも 1 つの光学入力フィーチャと、
 前記基準光源からの前記基準光を受け取り、前記基準光を前記 LCVR の 1 つ以上の
 空間的に分離された領域に拡張するように結合された、1 つ以上の光結合素子と、
 を備え、
 拡張された前記基準光により行われる空間依存性リターダンス測定は、前記 2 つ又はそれ
 より多数の電極対の各々に印加される別個のリターダンス制御信号を形成するのに用いら
 れる、光学デバイス。

【請求項 2】

前記入力フィーチャおよび前記光結合素子のうちの少なくとも 1 つは、回折光学素子を
 備える、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

装置であって、
 基準光を提供する光源と、
 光学デバイスであって、
 液晶可変リターダ (LCVR) と、
 前記 LCVR に光学的に結合された射出瞳拡張器と、
 前記 LCVR の異なる空間領域をカバーする 2 つ又はそれより多数の電極対と、を備え

前記射出瞳拡張器は、

前記光源から前記基準光を受け取る少なくとも１つの光学入力フィーチャと、

前記光源から前記基準光を受け取り、前記基準光を前記ＬＣＶＲの１つ以上の空間的に分離された領域に拡張するように結合された、１つ以上の光結合素子と、

を備える、射出瞳拡張器と、を備える、光学デバイスと、

前記ＬＣＶＲを通過する前記拡張された基準光を検出し、それに応答して電気信号を発生するように整えられた、焦点面アレイと、

前記焦点面アレイに結合された制御器であって、前記制御器は、前記電気信号に基づいて前記ＬＣＶＲの空間依存性リターダンスを決定し、前記２つ又はそれより多数の電極対の各々に別個のリターダンス制御信号を印加するように構成され、前記別個の制御信号は前記空間依存性リターダンスの測定に基づくものである、制御器と、を備える、装置。

【請求項４】

前記光学デバイスの各々第１および第２の側に第１および第２の偏光子をさらに備え、前記制御器は、前記ＬＣＶＲを横切る可変電圧を印加し、前記ＬＣＶＲを通過する画像に作用する時変リターダンスを作るように構成され、前記偏光子および前記ＬＣＶＲを通過する前記画像は、前記焦点面アレイを介して検出されたインターフェログラムを形成する、請求項３に記載の装置。

【請求項５】

前記基準光は、単色の実質的にコリメートされた光を含む、請求項３に記載の装置。